

環境共生学研究科の構成

教育研究上の目的



環境共生学研究科は、人間と人間を取り巻く生物的な要因・大気・水・森林・土壌・人工物等の非生物的な要因からなる環境とが共生するためのあり方、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全し利用する方法、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策等を科学的に追求することを目的とします。

研究科の構成と入学定員

研究科	専攻	課程	入学定員
環境共生学研究科	環境共生学専攻	博士前期課程 (修士)	20人
		博士後期課程 (博士)	3人

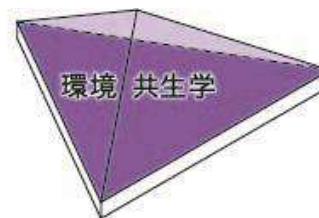
環境共生学研究科の概要

博士前期課程では、環境共生学部の3専攻における教育を基礎としてさらに発展させるために、**2領域4分野**を配置し、この**4つの研究分野が相互関係を重視しながら「環境共生学」を広く学び、深く研究することを目指しています。**

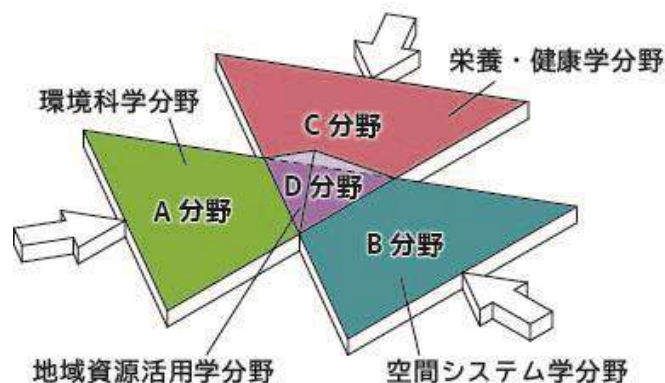
博士後期課程では、4分野を一つに集約するよう教育の再編成を行い、それぞれの立場から深く研究を行い、「環境共生学」を確立しようとしています。

博士前期課程における分野

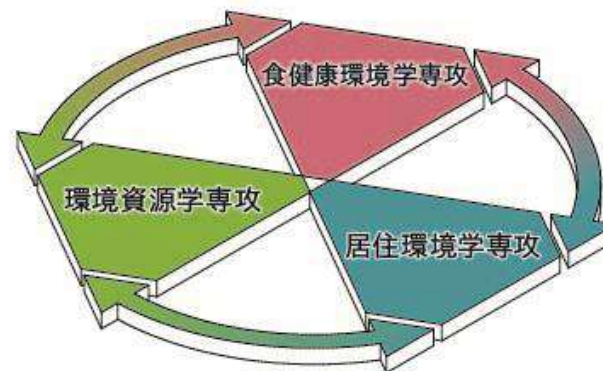
- A分野：環境科学分野
 - B分野：空間システム学分野
 - C分野：栄養・健康学分野
 - D分野：地域資源活用学分野
- (A~C分野：発展型領域、
D分野：融合型領域)



大学院
博士後期課程



大学院
博士前期課程



環境共生学部

教員一覽

A 環境科学分野

教授	石橋 康弘
教授	張 代洲
教授	堤 裕昭
准教授	阿草 哲郎
准教授	小林 淳
講師	小森田 智大

B 空間システム学分野

教授	北原 昭男
教授	辻原 万規彦
教授	高橋 浩伸
教授	李 麗
准教授	佐藤 哲
准教授	田中 昭雄
准教授	鄭 一止

C 栄養・健康学分野

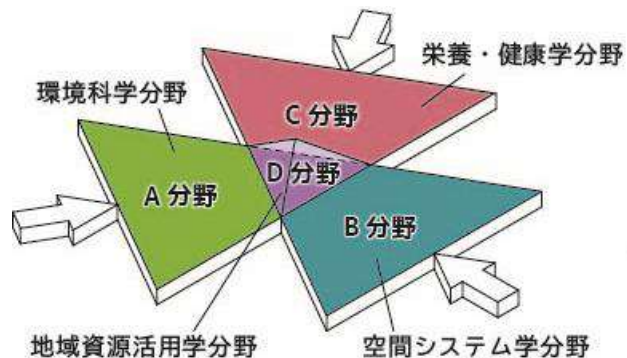
教授	下田 誠也
教授	松本 直幸
教授	南 久則
准教授	青木 朋子
准教授	坂本 達昭
准教授	吉村 英一
講師	木下 喜子

D 地域資源活用学分野

教授	有蘭 幸司
教授	柴田 祐
教授	白土 英樹
教授	松崎 弘美
教授	松添 直隆
准教授	一宮 睦雄
准教授	友寄 博子

その他

准教授	IT-ジェネラー スキート
教授	井田 貴志
連携教授	山元 恵
教授	石村 秀登
特任准教授	米村 友子



大学院進学者数

大学院研究科（博士前期）の入学者数

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
一般	15 (19)	20 (22)	8 (9)	17 (18)
社会人	2 (2)	1 (1)	2 (2)	3 (3)
外国人	2 (2)	0	1 (1)	0
合計	15 (19)	21 (23)	11 (12)	20 (21)

() 内の数値は受験者数を示す

定員

秋季募集	20名（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の計）
春季募集	若干名（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の計）

研究指導スケジュール

年次	月	概要
1年次	4月	研究指導教員決定
	6月上旬	研究内容、題目決定 研究開始 この間、定期的に研究の進行状況を指導教員に報告し、研究を遂行する。
2年次	10月	論文中間発表（学会発表を当てることができる） この間、定期的に研究の進行状況を指導教員に報告し、研究を遂行する。
	1月31日	学位論文審査願提出
	2月上旬	論文発表（口頭試問）

履修

分野名	授業科目名	単位
環境共生学特論		2
A : 環境科学分野	大気・水系環境科学特論	2
	沿岸生態学	2
	化学物質精密計測学	2
	環境物質動態学	2
	大気物質循環論	2
	環境資源活用学特論	2
	環境材料科学	2
	森林生態学特論	2
B : 空間システム学分野	共生住空間論	2
	共生都市空間論	2
	パッシブ環境調整工学	2
	空間構造論	2
	木質構造設計論	2
	人体適応工学	2
	建築計画学特論	2
C : 栄養・健康学分野	栄養・健康学特論	2
	健康栄養管理学	2
	栄養生理学	2
	栄養制御学	2
	臨床機能栄養学	2
	健康福祉環境学特論	2
	発育発達運動環境論	2
	環境人間工学	2

分野名	授業科目名	単位	
D : 地域資源活用学分野	農山村域環境ストック論	2	
	沿岸海洋資源学	2	
	植物資源利用学	2	
	食品機能論	2	
	食資源安全性論	2	
	食品機能分析学	2	
	応用微生物学	2	
	栄養機能化学	2	
	環境共生学演習I	2	
	環境共生学演習II	2	
環境共生学演習	環境共生学演習III	2	
	環境共生学演習IV	2	
	環境共生学演習V	2	
	教職に関する科目	教職実践研究I	2
		教職実践研究II	2
家庭科教育特論		2	
特別研究		8	

赤字：必修

青字：理科専修免許

緑字：家庭科専修免許

修了要件

課程	標準修業年限	必修単位	選択単位	合計
博士前期課程	2年	18	12	30
博士後期課程	3年	12	4	16

取得可能な資格

環境共生学研究科（博士前期課程）

- 中学校・高等学校教諭専修免許状（理科）
- 中学校・高等学校教諭専修免許状（家庭）

就職先（過去5年）

【博士前期課程修了】

民間企業等

E、TAKASUGI、WDBエウレカ、ひらの、カネリョウ海藻、シンコー、ジャパンファーム、ジョンマスターオーガニックグループ、テクノプロ、ネオス、ファンファレ、フォーカスシステムズ、フジタ、ベルグアース、ヤマザキビスケット、ランドブレイン、横河ソリューションサービス、化学及血清療法研究所、釜屋、環境テクノス、菊池養生園保健組合、九州テクニカルメンテナンス、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本製粉、熊本泌尿器科病院、佐賀県農業協同組合、済生会熊本病院、新日鐵住金、西日本技術開発、西部ガス情報システム、大和エネルギー、地域計画建築研究所（アルパック）、同仁グローバル、同仁化学研究所、日曹商事、日豊食品工業、斐構造設計事務所、肥後木材、不二ライトメタル、富田薬品、福岡建設合材、豊田汽車（常熟）零部件有限公司、野田市電子、野田市兵衛商店、林兼産業

公務員

宇城市、熊本県（林学）、日田市

学校教職員

鎮西学園（鎮西高校・真和中・高校）、武庫川女子大学、熊本県立大学

【博士後期課程修了】

公務員

水産総合研究センター増養殖研究所、国立環境研究所

学校教職員

熊本県立大学、尚絅大学、復旦大学、東京農業大学

社会人特別選抜（国際協力枠）

試験科目等	<ul style="list-style-type: none">○小論文○口頭試問
試験時間	<ul style="list-style-type: none">○小論文：10：00～12：00○口頭試問：13：00～
配点	<ul style="list-style-type: none">○小論文：100点○口頭試問：100点
採点基準	<ul style="list-style-type: none">○小論文 専門分野に関する知識や考察力、論理的思考力、表現力、記述力をみる。○口頭試問 これまで行ってきた活動や研究計画の説明により、専門分野に関する知識や考察力、意欲や研究遂行能力などをみる。（口頭発表15分、質疑応答10分）
出願にあたっての注意事項	あらかじめ指導を希望する教員と相談のうえ出願してください。

教員一覽

A 環境科学分野

教授	石橋 康弘
教授	張 代洲
教授	堤 裕昭
准教授	阿草 哲郎
准教授	小林 淳
講師	小森田 智大

B 空間システム学分野

教授	北原 昭男
教授	辻原 万規彦
教授	高橋 浩伸
教授	李 麗
准教授	佐藤 哲
准教授	田中 昭雄
准教授	鄭 一止

C 栄養・健康学分野

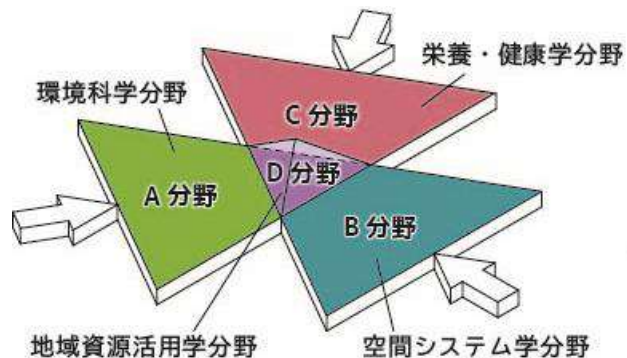
教授	下田 誠也
教授	松本 直幸
教授	南 久則
准教授	青木 朋子
准教授	坂本 達昭
准教授	吉村 英一
講師	木下 喜子

D 地域資源活用学分野

教授	有蘭 幸司
教授	柴田 祐
教授	白土 英樹
教授	松崎 弘美
教授	松添 直隆
准教授	一宮 睦雄
准教授	友寄 博子

その他

准教授	IT-ジェネラリスト
教授	井田 貴志
連携教授	山元 恵
教授	石村 秀登
特任准教授	米村 友子





教授 辻原 万規彦 (Makihiko TSUJIHARA)

- 専門分野：建築環境工学、都市史、建築史
 - 研究課題：小学校の教室の温熱環境と住育プログラム、製糖業や電気化学工業の工場と社宅街の建設過程、天草市に残る近代建築物の保存と活用
 - 授業科目：環境調整工学、建築環境工学Ⅰ・Ⅱ、居住環境調整工学実験など
 - 学 位：博士（工学・京都大学）
 - E-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp
 - w e b：http://pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/
- 各地の気候風土の違いを考慮して、豊かな自然を有効に利用したこれからの地域の環境調整のあり方とその方針について学びます。

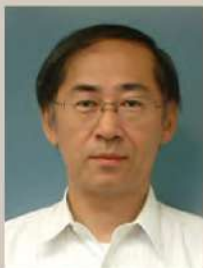
屋内の温熱環境
都市史、建築史



准教授 田中 昭雄 (Akio TANAKA)

- 専門分野：建築設備工学、建築環境工学
 - 研究課題：建築設備の環境負荷、住宅エネルギー消費の地域性と経年変化、太陽電池の発電特性、地域の低炭素化
 - 授業科目：環境設備システム学、環境設備学、住まいと地域環境 など
 - 学 位：博士（工学・熊本大学）
 - E-mail：a-tanaka@pu-kumamoto.ac.jp
- 建築内の快適さの追求は、「都市環境」や「自然環境」に悪影響を及ぼします。その事を理解した上で、人や環境に優しい建築環境工学の知識を学びます。

建物のエネルギー消費
太陽電池



教授 北原 昭男 (Akio KITAHARA)

- 専門分野：木質構造学、建築耐震構造
 - 研究課題：木造軸組構法建物の耐震性能評価、伝統的木造建物の構造特性の解明、都市建築群の地震被害推定と都市地震防災
 - 授業科目：木質構造学、居住空間材料学、居住間構造材料実験、建築構法など
 - 学 位：博士（工学・京都大学）
 - E-mail：kitahara@pu-kumamoto.ac.jp
- 環境に優しい居住空間の構築を目指して、木造建物を中心に構造物の構築方法、建築材料の利用法、建物の耐震安全性などについて学びます。

木造建物の耐震性能
都市地震防災



教授 李 麗 (Li Li)

- 専門分野：建築構造学
 - 研究課題：木・鋼ハイブリッド耐力壁、木と鋼の環境共生住宅、鋼・コンクリート合成構造に関する研究
 - 授業科目：静定構造力学、不静定構造力学、鉄筋コンクリート構造学など
 - 学 位：博士（工学・九州大学）
 - E-mail：lili@pu-kumamoto.ac.jp
- 美しさと安全性を両立させる空間造形を可能にする力学や、要求性能に相応しい構造材料の組み合わせ等に関する理論と技術を学びます。

ハイブリッド構造
構造教育



教授 高橋 浩伸 (Hironobu TAKAHASHI)

- 専門分野：建築設計、住空間計画学
 - 研究課題：美的空間創造のための基礎的研究、空間認知環境評価に関する研究
住空間のデザイン手法に関する研究、住空間の快適な光環境に関する研究
 - 授業科目：住空間計画学、比較住文化論、居住環境デザイン実習、共生住文化論など
 - 学 位：博士（工学・九州大学）
 - E-mail：takahashi@pu-kumamoto.ac.jp
- 人はどのように空間を認知し評価しているのかを知り、「感動」や「幸福感」を抱けるような空間を創造するための設計デザイン手法や、デザインの在り方を学びます。

建築デザイン
美しさ



准教授 佐藤 哲 (Satoshi SATO)

- 専門分野：建築計画、福祉住環境、福祉のまちづくり
 - 研究課題：高齢者の住まいと情報提供の在り方に関する研究、空き家の利活用に関する研究、地域包括ケアに関する研究、住教育教材の開発に関する研究
 - 授業科目：建築計画学、福祉住環境原論、居住環境デザイン実習など
 - 学 位：博士（工学・横浜国立大学）
 - E-mail：satoshi-s@pu-kumamoto.ac.jp
- 建築によって生み出される空間や環境の分析・評価を通して、建築設計を支える知見や条件を提示・提案し、人間の行動や心理に適した建物を計画するための手法を学びます。

建築計画
福祉住環境



教授 柴田 祐 (Yu SHIBATA)

- 専門分野：地域計画学、景観
 - 研究課題：持続可能な農山漁村地域に関する研究、都市と農村の共生に関する研究
熊本地震からの農村集落の復興に関する研究
 - 授業科目：農山村域計画学、地域景観計画学、地域計画論、居住環境デザイン実習など
 - 学 位：博士（工学・大阪大学）
 - E-mail：shibatayu@pu-kumamoto.ac.jp
- 人口減少社会における持続可能な地域づくりを進めるために必要な、地域環境の読み取り方、地域計画の理論や技術、法制度を現場から学びます。

農村計画
災害復興



准教授 鄭 一止 (Ilji CHEONG)

- 専門分野：都市計画、まちづくり
 - 研究課題：地方都市におけるスプロール化とスポンジ化に関する研究、立地適正化計画制度など都市政策に関する研究、空き家や空地を活かした空地デザイン、社会遺産を活かしたアジア各都市のまちづくりに関する研究など
 - 授業科目：比較都市文化論、都市計画、都市居住政策学など
 - 学 位：博士（工学・東京大学）
 - E-mail：ilji1980@pu-kumamoto.ac.jp
- 縮小時代の持続可能な都市づくりを目指しもったいない遊休空間の実態と都市の使いこなし方について都市政策とまちづくり手法論から学びます。

都市計画
エリアリノベーション



教授 辻原 万規彦 (Makihiko TSUJIHARA)

- 専門分野：建築環境工学、都市史、建築史
 - 研究課題：小学校の教室の温熱環境と住育プログラム、製糖業や電気化学工業の工場と社宅街の建設過程、天草市に残る近代建築物の保存と活用
 - 授業科目：環境調整工学、建築環境工学Ⅰ・Ⅱ、居住環境調整工学実験など
 - 学 位：博士（工学・京都大学）
 - E-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp
 - w e b：http://pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/
- 各地の気候風土の違いを考慮して、豊かな自然を有効に利用したこれからの地域の環境調整のあり方とその方針について学びます。

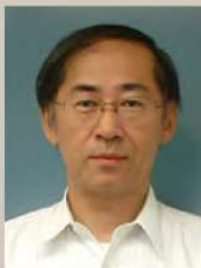
屋内の温熱環境
都市史、建築史



准教授 田中 昭雄 (Akio TANAKA)

- 専門分野：建築設備工学、建築環境工学
 - 研究課題：建築設備の環境負荷、住宅エネルギー消費の地域性と経年変化、太陽電池の発電特性、地域の低炭素化
 - 授業科目：環境設備システム学、環境設備学、住まいと地域環境 など
 - 学 位：博士（工学・熊本大学）
 - E-mail：a-tanaka@pu-kumamoto.ac.jp
- 建築内の快適さの追求は、「都市環境」や「自然環境」に悪影響を及ぼします。その事を理解した上で、人や環境に優しい建築環境工学の知識を学びます。

建物のエネルギー消費
太陽電池



教授 北原 昭男 (Akio KITAHARA)

- 専門分野：木質構造学、建築耐震構造
 - 研究課題：木造軸組構法建物の耐震性能評価、伝統的木造建物の構造特性の解明、都市建築群の地震被害推定と都市地震防災
 - 授業科目：木質構造学、居住空間材料学、居住間構造材料実験、建築構法など
 - 学 位：博士（工学・京都大学）
 - E-mail：kitahara@pu-kumamoto.ac.jp
- 環境に優しい居住空間の構築を目指して、木造建物を中心に構造物の構築方法、建築材料の利用法、建物の耐震安全性などについて学びます。

木造建物の耐震性能
都市地震防災



教授 李 麗 (Li LI)

- 専門分野：建築構造学
 - 研究課題：木・鋼ハイブリッド耐力壁、木と鋼の環境共生住宅、鋼・コンクリート合成構造に関する研究
 - 授業科目：静定構造力学、不静定構造力学、鉄筋コンクリート構造学など
 - 学 位：博士（工学・九州大学）
 - E-mail：lili@pu-kumamoto.ac.jp
- 美しさと安全性を両立させる空間造形を可能にする力学や、要求性能に相応しい構造材料の組み合わせ等に関する理論と技術を学びます。

ハイブリッド構造
構造教育



教授 高橋 浩伸 (Hironobu TAKAHASHI)

- 専門分野：建築設計、住空間計画学
 - 研究課題：美的空間創造のための基礎的研究、空間認知環境評価に関する研究
住空間のデザイン手法に関する研究、住空間の快適な光環境に関する研究
 - 授業科目：住空間計画学、比較住文化論、居住環境デザイン実習、共生住文化論など
 - 学 位：博士（工学・九州大学）
 - E-mail：takahashi@pu-kumamoto.ac.jp
- 人はどのように空間を認知し評価しているのかを知り、「感動」や「幸福感」を抱けるような空間を創造するための設計デザイン手法や、デザインの在り方を学びます。

建築デザイン
美しさ



准教授 佐藤 哲 (Satoshi SATO)

- 専門分野：建築計画、福祉住環境、福祉のまちづくり
 - 研究課題：高齢者の住まいと情報提供の在り方に関する研究、空き家の利活用に関する研究、地域包括ケアに関する研究、住教育教材の開発に関する研究
 - 授業科目：建築計画学、福祉住環境原論、居住環境デザイン実習など
 - 学 位：博士（工学・横浜国立大学）
 - E-mail：satoshi-s@pu-kumamoto.ac.jp
- 建築によって生み出される空間や環境の分析・評価を通して、建築設計を支える知見や条件を提示・提案し、人間の行動や心理に適した建物を計画するための手法を学びます。

建築計画
福祉住環境



教授 柴田 祐 (Yu SHIBATA)

- 専門分野：地域計画学、景観
 - 研究課題：持続可能な農山漁村地域に関する研究、都市と農村の共生に関する研究
熊本地震からの農村集落の復興に関する研究
 - 授業科目：農山村域計画学、地域景観計画学、地域計画論、居住環境デザイン実習など
 - 学 位：博士（工学・大阪大学）
 - E-mail：shibatayu@pu-kumamoto.ac.jp
- 人口減少社会における持続可能な地域づくりを進めるために必要な、地域環境の読み取り方、地域計画の理論や技術、法制度を現場から学びます。

インドネシア
中国

農村計画
災害復興



准教授 鄭 一止 (Ilji CHEONG)

- 専門分野：都市計画、まちづくり
 - 研究課題：地方都市におけるスプロール化とスポンジ化に関する研究、立地適正化計画制度など都市政策に関する研究、空き家や空地を活かした空地デザイン、社会遺産を活かしたアジア各都市のまちづくりに関する研究など
 - 授業科目：比較都市文化論、都市計画、都市居住政策学など
 - 学 位：博士（工学・東京大学）
 - E-mail：ilji1980@pu-kumamoto.ac.jp
- 縮小時代の持続可能な都市づくりを目指しもったいない遊休空間の実態と都市の使いこなし方について都市政策とまちづくり手法論から学びます。

韓国

都市計画
エリアリノベーション

2019年9月
国立東華大学（花蓮県）
との合同フィールド調査

戦前の製糖業と電気化学工業
の工場と社宅街の建設が周囲
の都市や集落に与えた影響に
関する研究



2018年9月
Atma Jaya Yogyakarta
Universityとの共同研究

災害復興と農村集落の活性化
に関する研究



